

カキ害虫フジコナカイガラムシの土着天敵類					
[要約] カキ害虫フジコナカイガラムシの土着天敵として、寄生蜂8種(うち未記録5種)と捕食者4種(全て未記録種)を確認した。最も多く採集される天敵は、寄生蜂ではフジコナカイガラクロバチ、捕食者ではタマバエの1種Trisopsis incisaである。					
担当部署	病虫害部・虫害チーム			連絡先	092-924-2938
対象作目	果 樹	専門項目	病虫害	成果分類	生理生態

[背景・ねらい]

カキの重要害虫であるフジコナカイガラムシは、近年発生が増加しており問題となっている。現在、土着天敵類による防除法を開発しているが天敵相に関する報告は少ない。そこで、土着天敵類を利用した総合的防除技術の基礎資料とするため、県内における天敵相を明らかにする。(要望機関名：久留米普(H12))

[成果の内容・特徴]

1. 県内3カ所の無防除のカキ園においてフジコナカイガラムシ誘引バンドを用いて土着天敵類を採集した結果、寄生性天敵8種と捕食性天敵4種が採集された。このうち、寄生性天敵5種と捕食性天敵4種はフジコナカイガラムシの天敵として未記録のものであった(表1)。
2. 最も多く採集された寄生蜂はフジコナカイガラクロバチ、次いでフジコナカイガラトビコバチであった(表1)。
3. 最も多く採集された捕食者はタマバエ類で、その大部分がTrisopsis incisaであった。本種はこれまで既知の種Diadiplosis hirticornisと混同されていた(表1)。
4. フジコナカイガラクロバチやフジコナカイガラトビコバチはフジコナカイガラムシの越冬世代から第3世代まで全世代で寄生が確認されたが、捕食性天敵はほとんどの場合、餌種が増加する第2世代以降に多く採集された(データ略)。

[成果の活用面・留意点]

1. 土着天敵類を利用した総合的防除技術確立のための基礎資料として活用できる。

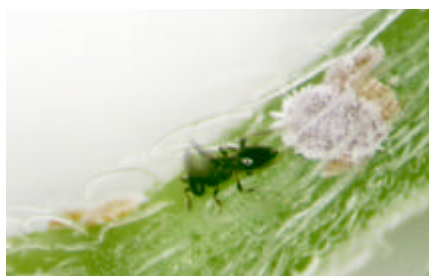
[ 具体的データ ]

表 1 採集されたフジコナカイガラムシの天敵類

種 名	採集場所		
	筑紫野市	朝倉町	吉井町
<b>1. 寄生性天敵</b>			
1)フジコナカイガラクロバチ ( <i>Allotropia subclavata</i> )	+++	+++	+++
2)フジコナカイガラトビコバチ ( <i>Anagyrus fujikona</i> )	++	-	++
3)クワコナカイガラヤドリバチ ( <i>Pseudaphycus malinus</i> )	+	++	-
4)フジコナヒゲナガトビコバチ ( <i>Leptomastix dactylopii</i> )	+	-	-
5)ツノグロトビコバチ ( <i>Anagyrus subnigricornis</i> )	+	-	-
6) <i>Ophelosia</i> sp.	-	-	+
7)クロツヤコバチ科の1種	+	-	-
8)寄生蜂の1種-1	-	-	+
<b>2. 捕食性天敵</b>			
1)タマバエ科の1種 ( <i>Trisopsis incisa</i> )	+++	+++	+++
2)タマバエ科の1種 ( <i>Diadiplosis hirticornis</i> )	+	+	+
3)スジクロヒメカゲロウ ( <i>Symherobius domesticus</i> )	++	+	+
4)オオダツマアカヒメテントウ ( <i>Scymnus rectus</i> )	+	-	-

注) +++ : 多い、++ : やや多い、+ : 少ない、- : 採集されず

: 今回の調査で初めてフジコナカイガラムシの天敵であると確認された種



フジコナカイガラクロバチ



フジコナカイガラヤドリトビコバチ



*Trisopsis incisa* (成虫)



*Trisopsis incisa* (幼虫)

図 1 フジコナカイガラムシの主な天敵類

[ その他 ]

研究課題名 : 土着天敵類の特性評価と活用技術の確立

予算区分 : 指定試験

研究期間 : 平成14年度 (平成13~17年)

研究担当者 : 手柴真弓、堤 隆文